

Panasonic

サーバーソフトウェア

操作ガイド

品番 **WV-AS700MQ**

このたびはサーバーソフトウェアをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。その後保存し、必要なときにお読みください。
- 本ソフトウェアをインストールする前に、ソフトウェア使用許諾契約書をよくお読みになり、同意していただける場合にのみCD-ROMパッケージを開封し、インストール作業を行ってください。

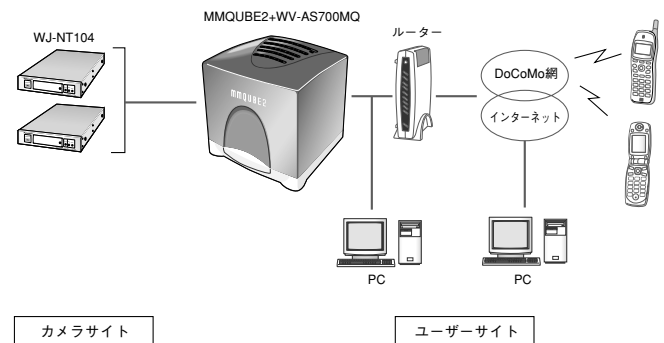
商品概要

サーバーソフトウェア WV-AS700MQ（以下、本ソフトウェア）は、遠隔地にあるカメラの画像をインターネット／イントラネットなどのIPネットワーク経由で、iモード携帯電話やパーソナルコンピュータ（以下、パソコン）に配信するためのNTTドコモ社製モバイルマルチメディアサーバー MMQUBE2上で動作するソフトウェア※です。ユーザーは、配信された画像を携帯電話のiモードやiアプリ、パソコンのWWWブラウザで見ることができます。

※本ソフトウェアで画像を配信するためには、MMQUBE2（以下、サーバー）の他に、ネットワークインターフェースユニット（WJ-NT104）が別途必要となります。

カメラの画像は、ネットワークインターフェースユニットがデジタル信号に変換し本ソフトウェアに送ります。本ソフトウェアが送られてきた画像データを中継し、画像フォーマット変換や画像サイズ変換をすることによって、複数のユーザーが同じ画像（ライブ画像）をiモードやWWWブラウザで見ることができます。

また、アラームの発生時に、本ソフトウェアに送られてきた画像は、サーバー上のハードディスクに録画したり、iモード携帯電話にメールで通知することができます。録画された画像データは、iモード携帯電話やWWWブラウザで見ることができます。



iモード、iアプリ、WWWブラウザによる操作

ユーザーはiモードを利用して、インターネットのホームページを閲覧するときと同じ操作で本ソフトウェアにアクセスでき、遠隔地にあるカメラの画像やアラーム画像を見ることができます。

ユーザーはオプションのiアプリを利用して、簡単な操作で遠隔地にあるカメラの画像を見たり、カメラを操作したりできます。

ユーザーはWWWブラウザを利用して、インターネットのホームページを閲覧するときと同じ操作で本ソフトウェアにアクセスできます。遠隔地にあるカメラの画像やアラーム画像を見たり、カメラを操作したりできます。

注 iモードやiアプリを使って本ソフトウェアにアクセスし、カメラの操作や画像のダウンロードなどを行った場合、パケット通信料金がかかります。

WWWブラウザによるサーバーの管理

本ソフトウェアのインストール作業やカメラ番号の設定等の管理はインターネットに接続されたパソコン（WWWブラウザ）で行うことができます。

WWWブラウザを用いて本ソフトウェアを管理することができるため、管理用に特別なソフトウェアをパソコンにインストールする必要はありません。

サイトごとに、本ソフトウェアを使用するために必要な環境は以下のとおりです。

カメラサイト

本ソフトウェアでカメラサイトにアクセスするためには、以下の機器が別途必要となります。

項目	品番・概要
ネットワークインターフェースユニット	WJ-NT104 Ver1.21以上
接続可能なカメラ	NTSCコンポジット信号を出力するカメラ
制御可能なカメラ	ネットワークインターフェースユニットで制御できるカメラ (WV-CS850, WV-CS650など)
カメラ最大数	8台

ユーザーサイト

WWWブラウザが動作するパソコンであれば、本ソフトウェアにアクセスし、画像を見たり、操作したりできます。推奨環境は下表のとおりです。

項目	概要
パソコン	推奨OSが動作するパソコン
推奨OS	Microsoft® Windows® (98, Millennium Edition, NT4.0 SP3以降, 2000, XP)
推奨ブラウザ*	Netscape Navigator4.xまたは Internet Explorer4.01SP1以降
推奨携帯電話	P2101V、P503is、P503i、P211i

※：本ソフトウェアを設定するときはInternet Explorer 4.01 SP1以降で操作してください。その他のブラウザでは正しく操作できないことがあります。

□ インターネット・WWWブラウザの環境について □

・インターネット経由で本ソフトウェアにアクセスする場合

回線状況またはお客様のLANの形態（ファイアーウォールの有無など）によっては、本ソフトウェアが配信するHTMLを正しく表示できない場合があります。

本ソフトウェアが配信するHTMLにはJavaScript、CGIに対する命令が含まれています。これらの命令をブロックするような環境では正しく表示できませんので注意してください。

・回線状況が悪い場合

通信速度が遅い、画像データを受信できないなど通信状況が悪い場合、画像が見つらくなったり、映像取得失敗を表す静止画像が表示されたりすることがあります。このような現象が頻発する場合は、映像取得間隔を調整してください。

付属品をお確かめください

サーバーソフトウェア インストールCD-ROM	1
インストールガイド	1

本書について

本書には、本ソフトウェアの機能と使いかたについて記載されています。本書は、コンピューター、WWWブラウザおよび携帯電話の使いかたを十分に理解していることを前提にしています。ソフトウェアを使用する前に、ご使用のOSでのファイルの開きかた、編集方法、保存方法などの基本操作を習得してください。コンピューター、携帯電話の使いかたについては、それぞれに付属されているマニュアルをご覧ください。

本書の構成

本書は、一般ユーザー向けの操作編とインストール編、サーバー管理者向けの管理編に分かれています。

操作編

携帯電話やパソコン上のWWWブラウザに表示される画面の説明および操作方法を説明しています。

なお、本編は携帯電話やWWWブラウザの操作方法およびインターネットについての知識を有している人を対象に記載しています。

インストール編

MMQUBE2に本ソフトウェアをインストールする方法を説明しています。

管理編

本ソフトウェアの設定方法を説明しています。なお、本編は以下の知識を有する人を対象に記載しています。

- MMQUBE およびApache HTTP Server の管理方法
- インターネットについての知識

用語について

本書で使用する用語について説明します。

- サーバー : Apache HTTP Server、サーバーソフトウェアがインストールされ、稼働しているコンピューターをサーバーと呼びます。
- ソフトウェア : サーバーソフトウェアをソフトウェアと呼びます。
- パソコン : Microsoft® Windows® オペレーティングシステムで動作しているコンピューターをパソコンと呼びます。
- WWWブラウザ : インターネットのホームページを閲覧するためのソフトウェア（例：Netscape Navigator、Internet Explorerなど）をWWWブラウザと呼びます。
- 管理者 : 管理者グループに登録されているユーザーを管理者と呼びます。
- ユーザー : 携帯電話やWWWブラウザで本ソフトウェアにアクセスし、画像を見たり、操作したりする人をユーザーと呼びます。
- アラーム画像 : アラームに連動して撮影された画像をアラーム画像と呼びます。

登録商標・商標について

- 米国におけるLinuxの名称は、Linus Torvaldsの登録商標です。
- i-mode、iアプリおよびMMQUBEは株式会社NTTドコモの登録商標です。
- Microsoft® Windows®、Windows NT®、は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Netscape, Netscape Navigator, Netscape ONE, Netscape の N ロゴおよび操舵輪のロゴは、米国およびその他の諸国の Netscape Communications Corporation 社の登録商標です。
Netscape、Netscape Communicatorは、Netscape Communications Corporation 社の商標です。
(一部の国では、登録商標となっています。)
- その他の社名または商品名は各社の商標または登録商標です。

もくじ

商品概要	i
付属品をお確かめください	iii
本書について	iii
本書の構成	iii
用語について	iv
登録商標・商標について	iv
操作編（iモードユーザー向け）	1-1
ライブ画面操作方法	1-2
再生画面操作方法	1-3
操作編（パソコンユーザー向け）	2-1
操作の基本	2-2
ライブモード画面	2-5
画面の構成	2-5
カメラ選択・カメラ操作	2-6
カメラ選択	2-6
カメラ操作パネル	2-7
再生モード画面	2-9
4画面表示	2-11
アラーム画像検索	2-12
インストール編	3-1
インストール	3-2

アンインストール	3-3
管理編	4-1
管理者機能	4-2
管理者用メニュー	4-4
カメラ設定	4-6
録画領域	4-10
ユーザー設定	4-11
新規ユーザー登録画面	4-12
ユーザー登録変更画面	4-13
ユーザー管理について	4-15
グループ	4-15
ユーザータイプ	4-15
グループとユーザータイプの関係	4-15
ユーザー認証	4-17
グループ名設定	4-18
アラーム設定	4-19
ライブ停止スケジュール設定	4-21
システム設定	4-24
システム終了・再起動	4-26
こんなときには	4-28

操作編

(iモードユーザー向け)

ここでは、本ソフトウェアへのアクセスのしかたおよび操作方法について説明します。

- ・本ソフトウェアへのアクセスはiモードのインターネット接続で行います。
- ・ユーザー制限されたカメラにアクセスするためには、登録されているユーザーで操作する必要があります。ユーザー名、パスワードなどはサーバー管理者にご確認願います。
- ・本書は、サーバーソフトウェア本体と同時にインストールされる標準のHTMLを使用し説明しています。お客様がHTMLファイルをカスタマイズした場合、画面の構成および動作が異なる場合があります。

iアプリをご利用になる場合

オプションのiアプリを使用すると、携帯電話でライブ画像を自動更新しながら閲覧することなどができます。以下の操作が可能です。

- ・画像更新間隔の設定
- ・カメラ選択
- ・ライブ画像の自動更新及び手動更新
- ・カメラ操作（プリセットポジションへの移動）

iアプリは、本ソフトウェアをインストールしたサーバー（MMQUBE2）設置環境にあわせて作成する必要があります。

iアプリの作成に関しましてはお求めの販売店へご相談ください。

ライブ画面操作方法

本ソフトウェアにアクセスして画像を見る場合、以下の手順で操作します。

- 1 iモードメイン画面からInternetを起動します。
- 2 以下のURLを入力します。

FOMA P2101Vの場合

`http://(サーバーのアドレス)/s3/j/`
サーバーのアドレスはシステムによって異なります。

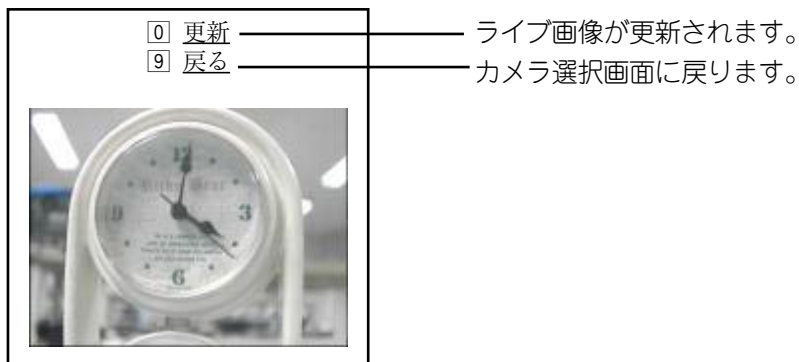
その他のiモード端末の場合

`http://(サーバーのアドレス)/s3/i/`
サーバーのアドレスはシステムによって異なります。

カメラ選択画面が表示されます。

- 1 Camera1
- 2 Camera2
- 3 Camera3
- 4 Camera4
- 5 Camera5
- 6 Camera6
- 7 Camera7
- 8 Camera8

- 3 カメラを選択します。
現在のライブ画像が表示されます。



再生画面操作方法

アラーム通知先としてユーザのiモード携帯電話のメールアドレスを指定してあれば、アラームが入った瞬間の画像を携帯電話で見ることができます。

- 1** アラームが入ると携帯電話にメールが送信されます。
- 2** メールを表示させます。
メールには、アラーム画像を表示するためのURLがかかれています。
- 3** URLを選択します。
アラーム画像が表示されます。

- 注
- ・次の場合にはアラーム画像は表示されません。
 - ・アラームが入ったときに録画領域の空きがなかった場合
 - ・アラーム画像を表示する前に管理者が画像の消去を行った場合
 - ・アラーム画像を表示するときに圏外にいる場合
 - ・ネットワークの状況によっては、携帯電話へのメールの到着が遅れる場合があります。

操作編

(パソコンユーザー向け)

- ここでは、本ソフトウェアへのアクセスのしかたおよび操作方法について説明します。
- ・本ソフトウェアへのアクセスはインターネット用のWWWブラウザで行います。WWWブラウザは各自でご用意願います。WWWブラウザの起動および操作のしかたは、お使いになるWWWブラウザの操作説明書またはヘルプをお読みください。
 - ・ユーザー制限されたカメラにアクセスするためには、登録されているユーザーで操作する必要があります。ユーザー名、パスワードなどはサーバー管理者にご確認願います。
 - ・本書は、サーバーソフトウェア本体と同時にインストールされる標準のHTMLを使用し説明しています。お客様がHTMLファイルをカスタマイズした場合、画面の構成および動作が異なる場合があります。

操作の基本

ここでは、本ソフトウェアにアクセスし、画像を取得する方法およびカメラの操作のしかたについて説明します。その後、画面の各項目について説明します。
本ソフトウェアにアクセスして画像を見る場合、以下の手順で操作します。

- 1 WWWブラウザを起動し、以下のURLを入力します。

```
http:// (サーバーのアドレス) /s3/L1/  
サーバーのアドレスはシステムによって異なります。
```

ユーザー制限を設定している場合、ユーザー認証ダイアログ画面が表示されます。

- 2 ユーザー認証ダイアログ画面が表示された場合は、ユーザー名およびパスワードを入力します。

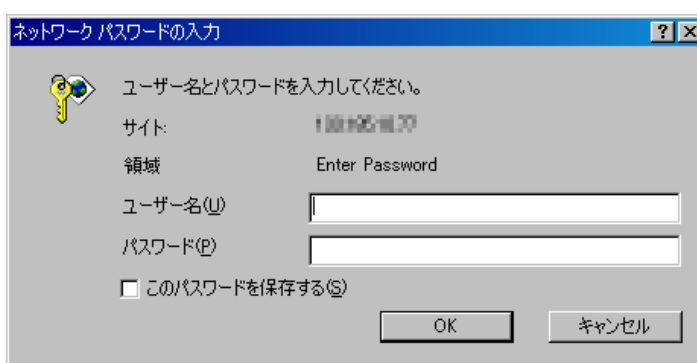
認証されると、indexページ (live001.html) が表示されます。

・画面左側に基本操作パネルが表示されます。 [基本操作パネル](#)

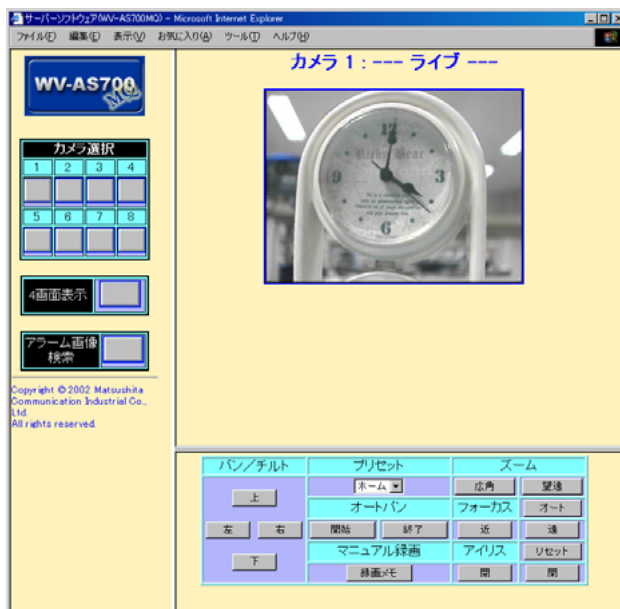
□ユーザー制限を設定している場合・・・□

ユーザー認証ダイアログ画面が表示されます。本ソフトウェアに登録されているユーザー名およびパスワードを入力してください。

【画面】 ユーザー認証ダイアログ画面



【画面】 live001.html

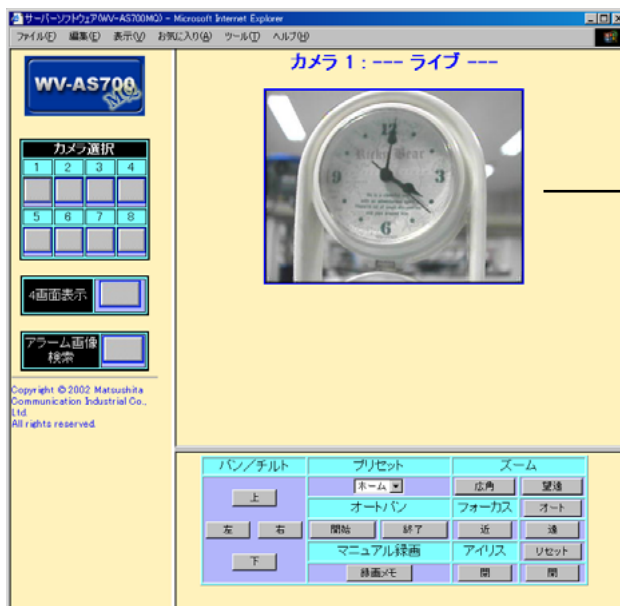


live001.html画面の構成は、下表のとおりです。

名称	概要
制御パネル	各種操作を行うためのボタンが表示されます。
画像表示エリア	カメラの画像が表示されます。16画面、4画面、1画面表示が可能です。
カメラ操作パネル	1画面表示の場合にだけ表示されます。

注 4画面表示は管理者用メニュー システム設定で「4画面表示あり」に設定しておく必要があります。

- 3 カメラ選択ボタンをクリックします。
クリックしたカメラの画像が画像表示エリアに表示されます。



選択したカメラの画像が表示されます。

画像取得の失敗

ネットワークインターフェースユニットまたはネットワークに異常が発生したなどの理由で、サーバーが画像を取得できなかった場合、あらかじめ設定されているメールアドレスにメールを送信して知らせることができます。 [アラーム設定画面](#)

画像を取得できなかった場合、カメラにアクセスしたユーザーには下図の画面を表示して画像取得が失敗していることを知らせます。

アクセスに失敗しても、接続が成立するまで定期的にリトライをかけます。ただし、リトライに失敗した場合、通知は行いません。

【画像】 映像の取得に失敗しました



ライブモード画面

ユーザーは、このパネルで見たいカメラを選択したり、各種機能を実行したりできます。

【基本操作パネル】



画面の構成

基本操作パネルの構成は下表のとおりです。

項目	概要
カメラ選択	標準で8台までのカメラを選択できます。選択すると、選択したカメラの画像（カメラ個別画面）が画像表示エリア（基本操作パネルの右側）に表示されます。また、右側下段に表示されるカメラ操作パネルでカメラを操作できます。 カメラ選択画面
4画面表示	画像表示エリアに、4台までのカメラの画像を同時に表示できます。カメラ操作パネルは表示されません。 4画面表示
アラーム画像検索	カメラ選択画面がアラーム画像検索画面に換わります。カメラ番号および日時を指定して、該当する日時に発生したアラームの画像を検索できます。 アラーム画像検索

- 注
- ・ 選択したカメラによっては操作できない場合があります（操作制限）。
 - ・ 4画面表示ボタンは管理者用メニュー システム設定で「4画面表示あり」に設定したときのみ表示されます。

カメラ選択・カメラ操作

ここでは、カメラ選択方法および選択したカメラの操作方法について説明します。標準HTMLでは8台までのカメラが選択できます。

カメラ選択

数字が表示されているボタンをクリックすると、クリックしたボタンに対応するカメラの画像が、画像表示エリアに表示されます。

【画面】 1画面表示のカメラ画像とカメラ操作パネルの表示例

①見たいカメラの番号をクリックする。

②選択したカメラの番号と状態が表示される。

③選択したカメラの画像が表示される。

④カメラ操作パネルが表示される。

注 カメラが接続されていない番号を選択すると、ブルー画面またはリンク切れを表すアイコンが表示されます。

カメラ操作パネル

ライブ画像を表示しているとき（ライブモード時）にだけ操作できます。



□カメラ操作パネルは・・・□

- ・ユーザータイプが「モニター」ユーザーでアクセスした場合、カメラ操作および手動録画機能を行うと、ユーザー認証ダイアログ画面が表示されます。ユーザータイプが「オペレーター」のユーザー名とパスワードを入力してください。ユーザー認証ダイアログ画面が表示された後に、操作を中止するときはWWWブラウザを強制終了してください。強制終了のしかたは使用するパソコン（OS）によって異なりますので、ご使用になるOSの操作説明書をお読みください。
- ・ネットワークインターフェースユニットでコントロール可能なカメラが接続されている場合、カメラ操作パネルのボタンをクリックして、パン/チルト、ズーム、フォーカスなどを操作できます。

パン/チルト

カメラ操作パネルにあるパン/チルトボタンをクリックすると、カメラが上下左右に動きます。

Internet Explorerの場合、画像表示エリアに表示されているライブ画像の上辺、下辺、右辺、左辺をクリックしてカメラを動かすこともできます。移動量は、画面の中央からの距離に応じて変わります。画面の端付近をクリックすると大きく動きます。画面中央付近をクリックした場合、カメラは動きません。

ボタンや画面を押し続けてパン/チルト操作をすることはできません。カメラを大きく動かす場合は、再度ボタンをクリックしてください。

オートパン

カメラを自動回転させるときに使います。

[開始] ボタンをクリックするとカメラのオートパン動作を開始します。オートパンの動作はカメラによって異なります。

[終了] ボタンをクリックするとオートパン動作を終了します。カメラ操作パネルの他のボタン（[録画メモ] および [再生モード] は除く）を押しても終了します。

プリセット

接続しているカメラがプリセット動作に対応している場合、プリセット番号でカメラの撮影位置を移動できます。

1～64のプリセットポジション番号またはホームポジションを選択できます。

ズーム

[望遠]、[広角] ボタンをクリックすると、カメラのズーム操作ができます。

ズーム操作ボタンは押し続けることはできません。ズーム操作を繰り返す場合は、再度ボタンをクリックしてください。

フォーカス

カメラのフォーカスを調節します。

近くの被写体にフォーカスを合わせるときは [近] ボタンをクリックします。

遠くの被写体にフォーカスを合わせるときは [遠] ボタンをクリックします。

[オート] ボタンをクリックすると、表示中の画像に対してオートフォーカスが働きます。

なお、フォーカス操作ボタンを押し続けることはできません。フォーカス操作を繰り返す場合は、再度ボタンをクリックしてください。

アイリス

カメラのアイリス（絞り）を調節します。一般的に背景をくっきりと撮影する、または明るい場所を撮影するときはアイリスを閉じます。

[開] ボタンをクリックするとアイリスが開き、被写界深度が浅くなります。

[閉] ボタンをクリックするとアイリスが閉じ、被写界深度が深くなります。

なお、アイリス操作ボタンを押し続けることはできません。アイリス操作を繰り返す場合は、再度ボタンをクリックしてください。

マニュアル録画

表示されているカメラの画像をサーバー上のハードディスクに録画できます。

[録画メモ] ボタンをクリックすると、1fpsで約10秒間録画を行います。

再生モード

手動で再生モードに切り換えるときにクリックします。

Netscape Navigatorの場合のみ、このボタンが表示されます。

再生モード画面

アラーム画像検索の検索結果画面から、再生したい画像を選択してクリックすると、録画画像の再生が開始されます。

再生が終了すると、録画終端点画面が表示されます。この画面が表示されたら、再生を停止してください。

【画面】録画終端点



注 WWWブラウザを起動後に再生すると、録画レコードの最終数フレーム再生後、録画終端点に到達し、上記画面が表示されます。

再生操作パネル

再生、逆再生、巻き戻し再生、早送り再生、一時停止、コマ送り、逆コマ送り等の再生操作が可能です。



再生・逆再生

録画したときと同じレートで再生（逆再生）を行います（例：30秒分の画像データは30秒かけて再生します）。

ネットワーク等の環境によっては、画像を読み飛ばして再生します。このため、全ての画像が再生されない場合があります。

全コマ再生・逆全コマ再生

録画したすべての画像データを連続的に表示します。標準HTMLでは約0.2秒間隔でつぎの画像を表示します。再生と違い、実時間との関連はありません。

ネットワークなどの環境によっては、表示にかかる時間が長くなる場合があります。

最新へ・先頭へ

最も新しい画像データ（最新へ）、または最も古い画像データ（先頭へ）から再生します。

スロー再生・逆スロー再生

再生速度を落として再生・逆再生を行います。

高速再生・高速逆再生

VTRの早送り再生・巻き戻し再生のように高速に再生・逆再生を行います。

一時停止

表示を一時停止します。

一時停止状態で再度押すと、一時停止解除となります。一時停止を解除すると、一時停止状態になる以前の動作となります。例えば巻き戻し再生から一時停止した場合、一時停止を解除すると、巻き戻し再生となります。

コマ送り・逆コマ送り

一時停止状態から直後の画像（逆コマ送りの場合は直前の画像）を表示し、一時停止状態になります。

再生中や早送り中など一時停止以外の状態からはコマ送り、逆コマ送りのボタンをクリックしても無視されます。

モード切換え

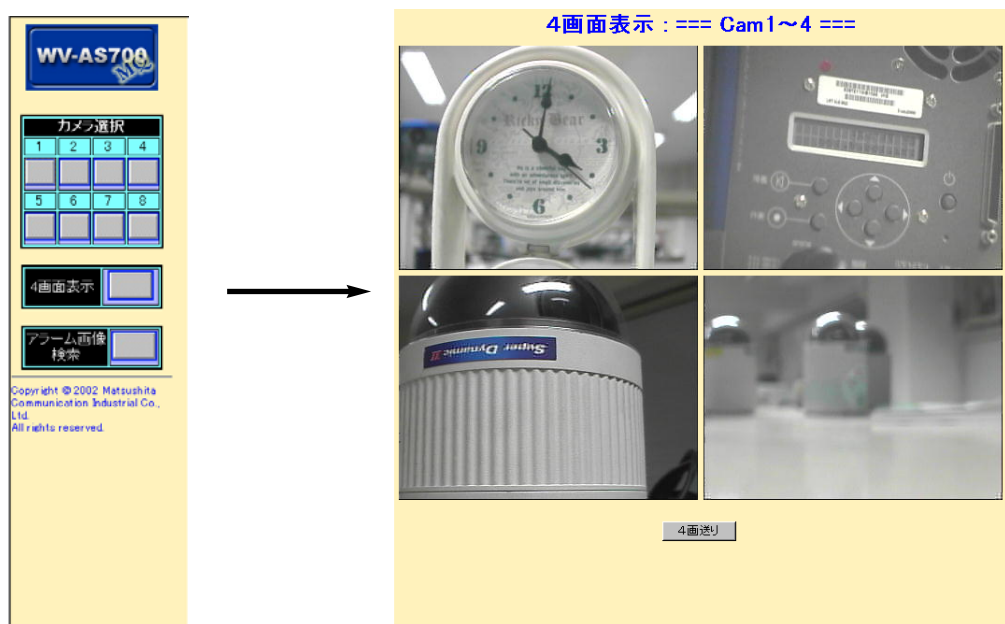
ライブモードに切り換えるときにクリックします。ライブモードに切り換えると、現在カメラが撮影している画像を確認できます。このとき、再生操作パネルは、カメラ操作パネルに切り換わります。📷カメラ操作

4画面表示

基本操作パネルの4画面表示ボタンをクリックすると、画像表示エリアに4画面表示します。カメラ操作パネルは表示されません。

- 注
- ・4画面表示は管理者用メニュー システム設定で「4画面表示あり」に設定しておく必要があります。
 - ・4画面表示を行うと、カメラ4台に対して同時にアクセスを行うため、本ソフトウェアでは4人のユーザーが同時にアクセスしていると認識されます。この場合、アクセスできるユーザー数が最大同時アクセス数より少なくなります。

【画面】4画面表示例



カメラ選択

4画面表示時に表示されている画面をクリックすると、クリックしたカメラの画像を1画面で表示します。また、基本操作パネルのカメラ選択ボタンをクリックして1画面表示にすることもできます。

1画面表示にすると、カメラ操作パネルが表示されます。  [カメラ操作](#)

4画送り

4画送りボタンをクリックすると (1~4) → (5~8) → (1~4) のように、4画面ずつ同時に映像を確認しながら表示画像を切り換えることができます。

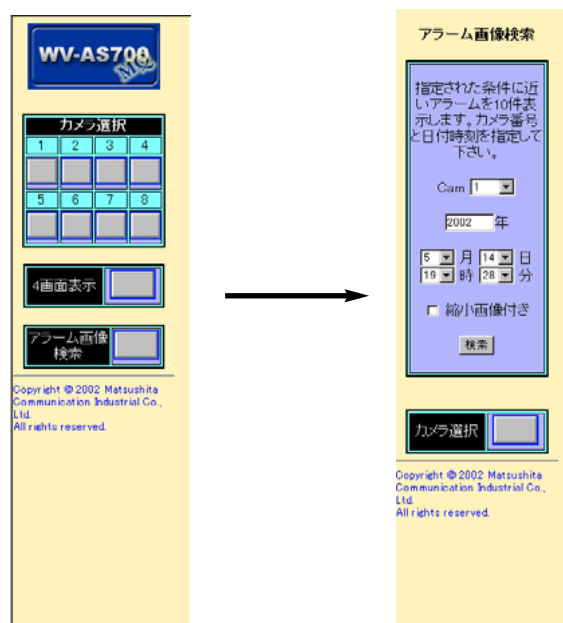
- 注 カメラが接続されていない番号は、ブルー画面またはリンク切れを表すアイコンが表示されます。

アラーム画像検索

指定したカメラ、指定した時刻周辺のアラームログを表示する機能です。

- 注 操作制限のあるカメラの場合：モニターはこの機能を利用できません。
操作制限のないカメラの場合：モニター、オペレータ共に利用可能です。

【画面】アラーム画像検索画面



アラーム画像検索画面の構成は、下表のとおりです。

項目	説明
Cam	検索対象となるカメラ番号を選択します。
年、月、日	年月日をそれぞれ指定します。
時、分	時、分をそれぞれ指定します。
縮小画像付き	検索結果と一緒に縮小画像（サムネイル）を表示したい場合チェックします。
検索	検索を開始します。

検索ボタンをクリックすると、基本操作パネルに検索結果が表示されます（最大10件まで表示）。

表示された検索結果をクリックすると、検索結果の位置から再生が開始されます。

最新のアラーム画像を表示する場合、検索結果の下にある「最新のアラーム画像」をクリックしてください。この場合、すべてのカメラが対象となります。

【画面】アラーム画像検索結果例



テキスト表示



縮小画像付き表示

注 サーバーの時計とパソコンの時計がずれている場合、検索結果が表示されないことがあります。また、時計を変更した結果、録画されたデータの時系列が正しくない場合、正しく検索できないことがあります。

インストール編

インストール

ここでは、本ソフトウェアのインストール方法を説明します。本ソフトウェアはMMQUBE2に搭載されているBlueLinQを使用することにより簡単にインストールすることができます。詳しくはMMQUBE2の取扱説明書（ユーザマニュアル）をご覧ください。

- 1 WV-AS700MQのCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れておきます。
- 2 ブラウザを用いて、MMQUBE2にadminとしてログインします。
ログインするためには、ブラウザに以下のURLを入力します。

```
http://（サーバーのアドレス）/login/  
サーバーのアドレスはシステムによって異なります。
```

- 3 画面上のメニューバーにある [BlueLinQ] タブ > [新規ソフトウェア] ボタン > [手動でインストールする] ボタンの順にクリックします。
- 4 [アップロード] ボタンと [参照] ボタンをクリックして、WV-AS700MQのCD-ROMのAS700MQ.pkgを選択します。
- 5 [インストール準備を開始] ボタンをクリックします。
- 6 ライセンス内容に合意される場合は [合意する] ボタンをクリックします。
しばらくするとインストールが終了します。

この後、管理編に従って各機能を設定してください。

アンインストール

ここでは、本ソフトウェアのアンインストール方法を説明します。本ソフトウェアはMMQUBE2に搭載されているBlueLinQを使用することにより簡単にアンインストールすることができます。詳しくはMMQUBE2の取扱説明書（ユーザマニュアル）をご覧ください。

- 1 ブラウザを用いて、MMQUBE2にadminとしてログインします。
ログインするためには、ブラウザに以下のURLを入力します。

```
http:// (サーバーのアドレス) /login/  
サーバーのアドレスはシステムによって異なります。
```

- 2 画面上のメニューバーにある [BlueLinQ] タブ > [ソフトウェア一覧] ボタンの順にクリックします。
[インストールされているソフトウェアのリスト] テーブルが表示されます。
- 3 WV-AS700MQの [削除] 欄のアンインストールアイコンをクリックし、確認ダイアログで [OK] をクリックします。
しばらくするとアンインストールが終了します。

管理編

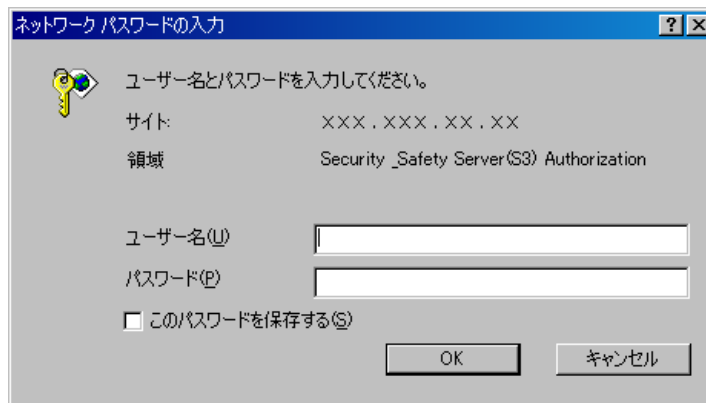
管理者機能

本ソフトウェアの設定を行うためには、WWWブラウザに以下のURLを入力し、管理者機能画面を表示します。管理者機能画面で、本ソフトウェアの環境を設定します。

- 1 WWWブラウザ*を起動し、以下のURLを入力します。

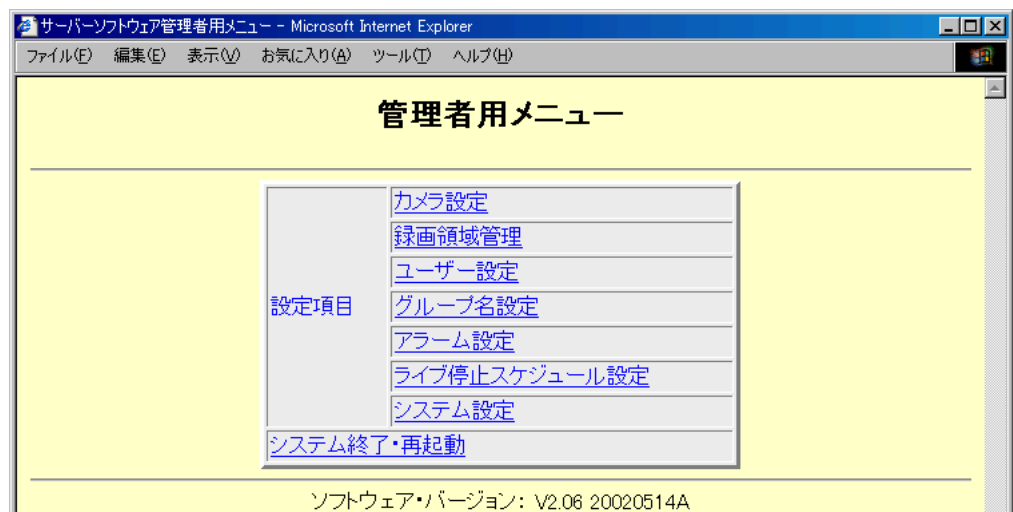
http:// (サーバーアドレス) /s3/cfg/ サーバーアドレスはお客様の環境によって異なります。

「ネットワークパスワード入力画面」が表示されます



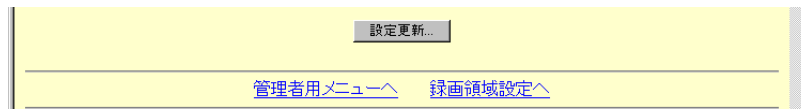
※：本ソフトウェアを設定するときは、Internet Explorer 4.01以降で操作してください。その他のWWWブラウザでは正しく操作できないことがあります。

- 2 「ユーザー名」および「パスワード」を入力し、[OK] ボタンを押します。
本ソフトウェアの登録内容と一致すると管理者用メニューが表示されます。
ユーザー名 : 管理者グループに登録されているユーザー名を入力します。
パスワード : ユーザーのパスワードを入力します。
- 3 管理者用メニューで、設定または操作したい項目をクリックします。
クリックした機能の画面が表示されます。



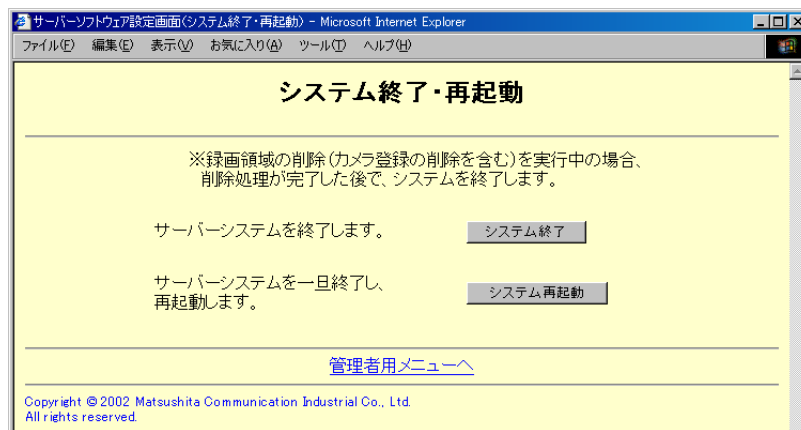
詳細は、「管理者用メニュー」をお読みください。☞[管理者用メニュー](#)

- 4 表示された画面で設定または操作を行います。
- 5 設定を変更した場合、各画面の [設定更新] ボタンをクリックします。



「管理者用メニューへ」をクリックすると、管理者用メニューに戻ります。

- 6 再起動が必要な設定を変更した場合、「システム終了・再起動」をクリックします。「システム終了・再起動」画面が表示されます。

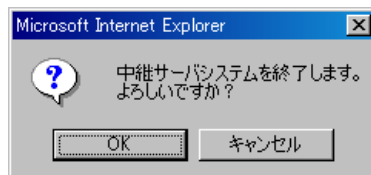


- 7 変更した内容を反映するには [システム再起動] ボタンをクリックします。本ソフトウェアを終了するときは [システム終了] ボタンをクリックします。確認メッセージが表示されます。

【システム再起動をクリックした場合】



【システム終了をクリックした場合】



OK : 本ソフトウェアを終了または再起動します。
 キャンセル : システム終了・再起動画面に戻ります。

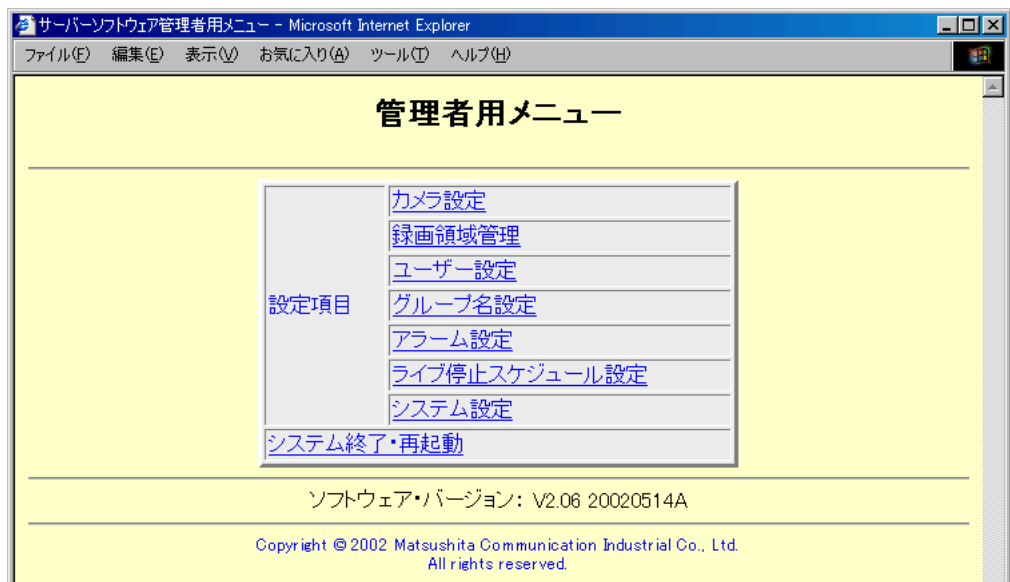
注 システムの設定を変更した後にシステムを終了した場合は、次回本ソフトウェアを起動したとき、変更した内容で動作します。

管理者用メニュー

WWWブラウザに、管理用のURLを入力します。

この画面の各項目をクリックすることによって、本ソフトウェアの各種設定画面を表示できます。

【画面】

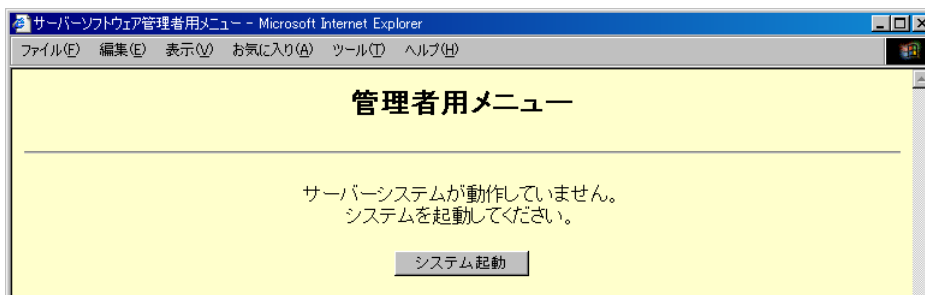


【説明】

項目	表示される画面	説明
カメラ設定		登録されているカメラの一覧表示を行います。この画面で複数のカメラの追加、変更が可能です。
	個別カメラ設定*	カメラごとに、より細かい設定が可能です。登録されているカメラを削除することもできます。
録画領域管理		登録されているカメラの現在の状況を一覧表示します。
ユーザー設定		登録されているユーザーの一覧を表示する画面です。
	個別ユーザー設定	登録済みのユーザーの設定変更および削除を行うための画面です。
	新規ユーザー設定	新規ユーザーを登録するための画面です。
グループ名設定		グループ名を変更するための画面です。
アラーム設定		アラーム発生時、本ソフトウェア動作設定を行うための画面です。
ライブ停止スケジュール設定		ライブ停止機能のスケジュール一覧を表示します。
	ライブ停止スケジュール設定	ライブ停止機能のスケジュール設定を行うための画面です。
システム設定		排他制御およびネットワークに関する設定を行うための画面です。
システム終了・再起動		本サーバの終了、および再起動を行うための画面です。

注 本ソフトウェアが動作していない状態で管理者メニューにアクセスした場合、本ソフトウェアの起動用のボタンのみが表示されている画面が表示されます。


【画面】



カメラ設定

この画面でカメラ登録状況を確認できます。また、カメラ番号をクリックすると、カメラごとにカメラの環境を設定する画面を表示できます。

【画面】

管理者用メニュー  カメラ設定




カメラ	IPアドレス	映像入力CH	タイトル (16文字まで)	ユーザー制限	グループ
1	192.168.0.10	1ch	camera1	あり	Group1
2	192.168.0.10	2ch	camera2	あり	Group1
3	192.168.0.10	3ch	camera3	あり	Group1
4	192.168.0.10	4ch	camera4	あり	Group1
5				なし	-
6				なし	-
7				なし	-
8				なし	-

設定更新...

[管理者用メニューへ](#) [録画領域設定へ](#)

【説明】

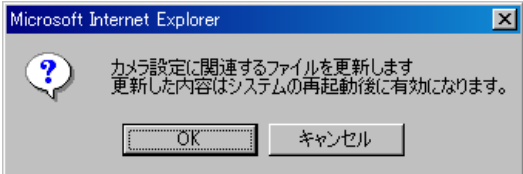
この画面ではカメラの追加および登録してあるカメラの設定変更が可能です。カメラの削除はできません。個別カメラ設定画面で行ってください。

項目	説明
個別カメラ設定へのリンク	カメラ番号をクリックすると個別カメラ設定画面を表示します。  個別カメラ設定画面
IPアドレス	XXX.XXX.XXX.XXXの形式でカメラのIPアドレスを入力します。
映像入力Ch	カメラが接続されているネットワークインターフェースユニットの画像入力チャンネルを指定します。 リストは1ch、2ch、3ch、4chの4種類。デフォルトで「1ch」が指定されます。
タイトル	各カメラにタイトルを付けることができます（必須ではありません）。 16文字までの文字列を入力できます。
ユーザー制限※	カメラに対してユーザー制限をかけるかどうかを指定します。 「あり」に設定する場合、「グループ」欄にカメラが所属するグループを設定してください。同じグループに所属するユーザーのみが閲覧可能となります。 「なし」に設定すると、すべてのユーザーが閲覧可能となります。 (録画メモを行うにはオペレーターでログインする必要があります)

つづく

※ユーザー制限についてはユーザー設定の説明もお読みください。

続き



項目	説明
グループ	カメラの所属するグループを選択します。上のユーザー操作制限を「なし」に設定した場合、グループ指定は無効「-」となります。
設定更新	<p>クリックすると、確認メッセージが表示されます。</p>  <p>指定された内容で設定ファイルを更新します。 同時に、複数のカメラの設定変更が可能です。 ただし、変更内容は再起動後から有効になります。</p>
管理者用メニューへ	管理者用メニューに戻ります。
録画領域管理へ	録画領域管理画面を表示します。

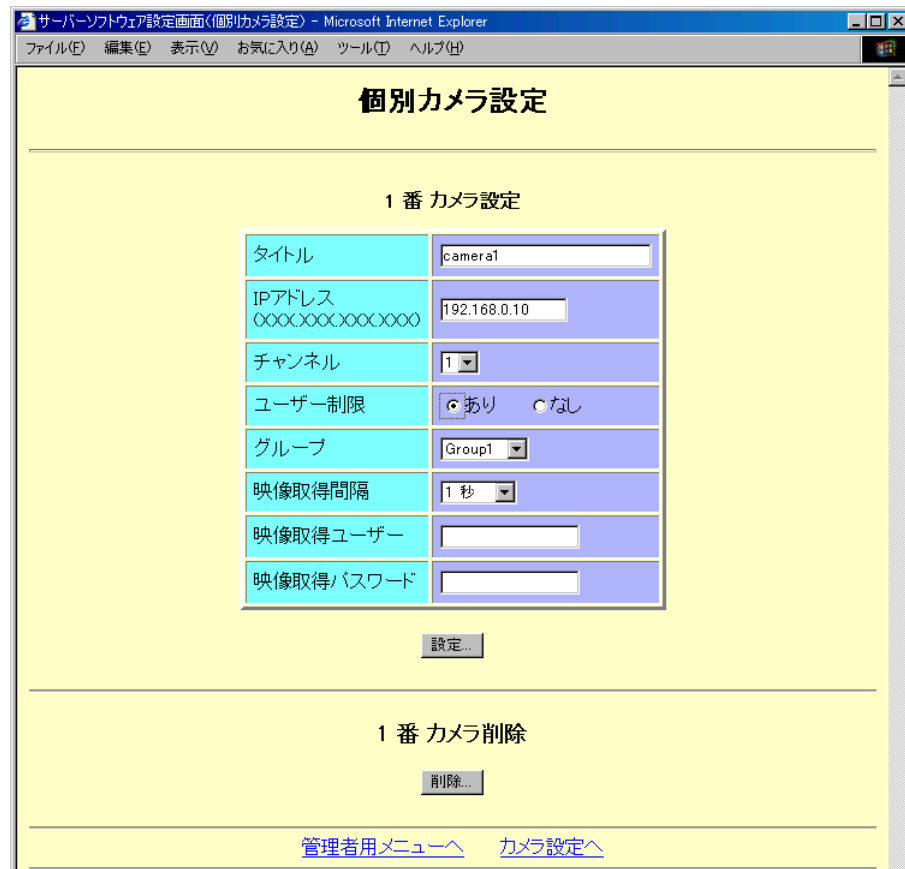
- 注
- ・本画面で設定した内容は本ソフトウェアの再起動後に有効になります。本ソフトウェアを再起動するまでは、以前の設定のまま動作します。
 - ・設定更新ボタンを押さずに他の画面に移動した場合、設定は変更されません。

個別カメラ設定画面

カメラ設定画面のカメラ番号をクリックすると表示されます。

【画面】

管理者用メニュー  カメラ設定  カメラ番号



【説明】

カメラごとに下表の項目を設定します。

更新を反映するには本ソフトウェアの再起動が必要です。

項目	説明
タイトル	各カメラにタイトルを付けることができます（必須ではありません）。 16文字までの文字列を入力できます。
IPアドレス	xxx.xxx.xxx.xxxの形式でカメラのIPアドレスを入力します（xxxは0～255）。
チャンネル	カメラが接続されているネットワークインターフェースユニットの映像入力（1ch～4ch）チャンネルを指定します。 1ch～4chのいずれかを選択してください。デフォルトは1chです。 （ネットワークダイレクトカメラの場合1chを指定してください。）
ユーザー制限※	カメラに対してユーザー制限をかけるかどうかを指定します。ユーザー制限「あり」に設定した場合、下で指定するグループと同じグループに所属するユーザーのみが閲覧可能となります。「なし」に設定した場合はすべてのユーザーが閲覧可能です。

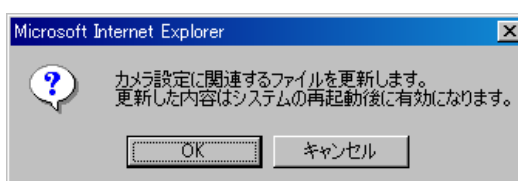
つづく

※ユーザー制限についてはユーザー設定の説明もお読みください。

続き

項目	説明
グループ	カメラの所属するグループを選択します。上のユーザー操作制限を「なし」に設定した場合、グループ指定は無効となり、「-」となります。
映像取得間隔	本ソフトウェアがネットワークインターフェースユニットからカメラ画像を取得する間隔を指定します。0.2秒、0.5秒、1秒、2秒、3秒、5秒、10秒、30秒、60秒、120秒、180秒が選択可能です。デフォルトは1秒です。
映像取得ユーザー	本ソフトウェアがネットワークインターフェースユニットにアクセスする際のユーザーを指定します。(ネットワークインターフェースユニット側で設定されているユーザーを設定してください)
映像取得パスワード	本ソフトウェアがネットワークインターフェースユニットにアクセスする際のユーザーのパスワードを指定します。

設定 クリックすると、確認メッセージが表示されます。



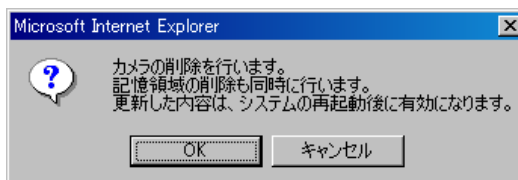
[OK] ボタン

クリックすると、設定ファイルを更新します。ただし、変更内容は再起動後に有効になります。

[キャンセル] ボタン

クリックすると、設定ファイルを更新せずに、個別カメラ設定画面に戻ります。

削除 クリックすると、確認メッセージが表示されます。



[OK] ボタン

クリックすると、表示しているカメラの情報が設定ファイルから削除されます。ただし、変更内容は再起動後から有効になります。

[キャンセル] ボタン

クリックすると、カメラの情報を削除せずに「個別カメラ設定」画面に戻ります。

管理者用メニューへ 管理者用メニューに戻ります。

カメラ設定へ カメラ設定画面に戻ります。

□ 映像取得間隔について □

映像取得間隔を設定するときは、つぎの内容に注意してください。

- ・映像取得間隔に設定した時間内に映像を更新できない状態が頻繁に発生すると、映像が見つらなくなることがあります。
- ・ユーザーが本ソフトウェアにアクセスし、一定時間(約3秒)経過しても画像を取得できなかった場合は、画像取得失敗を表すブルーバック画面が表示されます。

上記の現象が頻発するときは、映像取得間隔を大きく設定する必要があります。

録画領域

この画面で、録画領域の使用状況を確認できます。

【画面】

管理者用メニュー ▶ 録画領域管理

カメラ	IPアドレス	入力Ch	タイトル	録画状況	使用率	消去
1	192.168.0.10	1 ch	camera1	●	<div style="width: 100%;"></div>	消去
2	192.168.0.10	2 ch	camera2	○	<div style="width: 0%;"></div>	消去
3	192.168.0.10	3 ch	camera3	○	<div style="width: 0%;"></div>	消去
4	192.168.0.10	4 ch	camera4	○	<div style="width: 0%;"></div>	消去
5	-	-	-	○	-	-
6	-	-	-	○	-	-
7	-	-	-	○	-	-
8	-	-	-	○	-	-

[管理者用メニューへ](#) [カメラ設定へ](#)

【説明】

録画領域の現在の状態を表示します。この画面で設定することはできません。

項目	説明
カメラ	カメラ番号を表示します。
IPアドレス	カメラのIPアドレスを表示します。
入力Ch	カメラが接続されているネットワークインターフェースユニットの映像入力チャンネルを表示します。
タイトル	カメラのタイトルを表示します。
録画状況	アラームまたは手動（マニュアル）による録画を表しています。 ○が録画していない状態 ●が録画している状態
使用率	カメラ毎の録画領域全体に対するアラーム録画、録画メモの使用済み領域の割合を示します。
消去	録画済みの画像を消去します。
管理者用メニューへ	管理者用メニューに戻ります。
カメラ設定へ	カメラ設定画面を表示します。

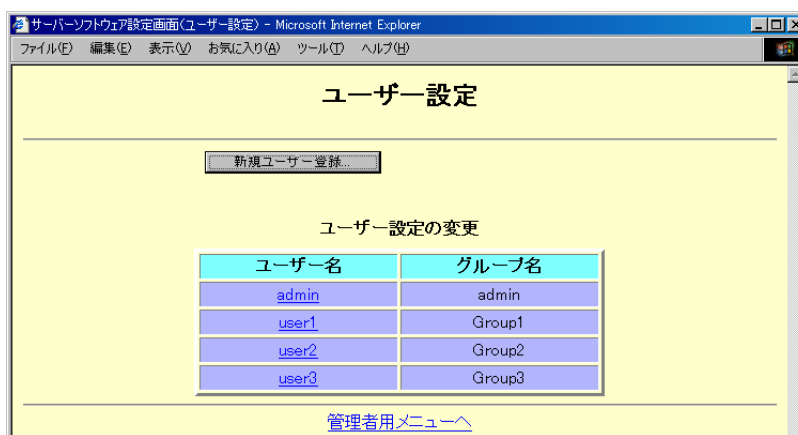
ユーザー設定

登録されているユーザーの一覧を表示します。

重要 管理者グループに所属するユーザーを必ず一人以上必ず登録してください（設定変更ができなくなるためです）。

【画面】

管理者用メニュー [ユーザー設定](#)





【説明】

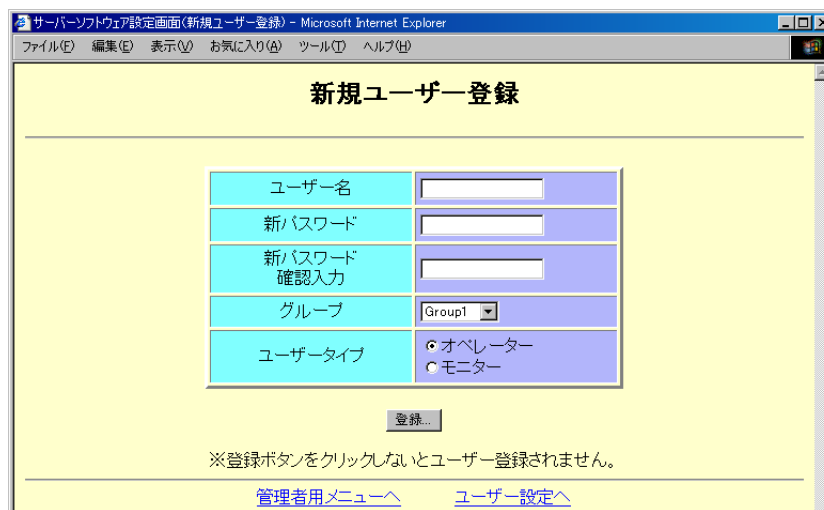
項目	説明
新規ユーザー登録...	新規ユーザー登録画面を表示します。
ユーザー名	本ソフトウェアに登録されているユーザー名の一覧を表示します。クリックするとユーザー登録変更画面を表示します。
グループ名	ユーザーが所属しているグループ名を表示します。
管理者用メニューへ	管理者用メニューに戻ります。

新規ユーザー登録画面



新規にユーザーを登録するための画面です。

【画面】

管理者用メニュー  ユーザー設定  新規ユーザー登録



【説明】

項目	説明
ユーザー名	ユーザー名を半角英数字32文字以下で入力します。 既に登録されているユーザーと同じ名前は使用できません。
新パスワード	パスワードを入力します。半角英数字32文字以下で設定してください
新パスワード確認入力	確認のため、上と同じパスワードを入力します。
グループ	ユーザーが所属するグループを選択します。管理者グループはすべてのカメラを閲覧、操作が可能です。管理者グループ以外を選択した場合、ユーザータイプで操作内容を設定します。
ユーザータイプ	カメラおよび録画操作を許可するまたは許可しないを設定します。 オペレーター：同じグループに属するカメラの画像をみる、カメラを操作する、録画・再生などを操作することができます。 モニター：同じグループに属するカメラの画像を見ることができます。 ただし、カメラを操作したり、録画・再生操作はできません。
登録...	クリックすると、確認メッセージが表示されます。 
	[OK] ボタン クリックすると、ユーザーを登録します。登録したユーザーは登録直後から本ソフトウェアにアクセスできます（再起動は必要ありません）。登録の結果はユーザー設定画面で確認してください。  ユーザー設定画面
	[キャンセル] ボタン クリックすると、ユーザーを更新せずに新規ユーザー登録画面に戻ります。
管理者用メニューへ	管理者用メニューに戻ります。
ユーザー設定へ	ユーザー設定画面に戻ります。

ユーザー登録変更画面

登録されているユーザーのパスワードやグループなど、ユーザー登録情報を変更するための画面です。

【画面】

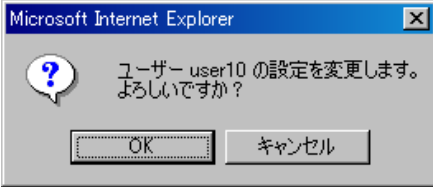

管理者用メニュー [ユーザー設定](#) [ユーザー名](#)

【説明】

項目	説明
ユーザー名	ユーザー名を表示します。名前は変更できません。
新パスワード	パスワードを設定します。パスワード保護のため、入力したパスワードは表示されません。
新パスワード確認入力	確認のため、上と同じパスワードを入力します。パスワード保護のため、入力したパスワードは表示されません。
グループ	ユーザーが所属するグループを選択します。管理者グループはすべてのカメラを閲覧、操作が可能です。管理者グループ以外を選択した場合、ユーザータイプで操作内容を設定します。
ユーザータイプ	カメラおよび録画操作を許可するまたは許可しないを設定します。 オペレーター：同じグループに属するカメラの画像を見る、カメラを操作する、録画・再生などすべての操作を行うことができます。 モニター：同じグループに所属するカメラの画像を見ることができます。ただし、カメラを操作したり、録画・再生操作はできません。

つづく

続き

項目	説明
設定更新...	<p>クリックすると、確認メッセージが表示されます。 ユーザー設定ファイルを更新します。更新直後から有効です。</p>
	
	<p>[OK] ボタン クリックすると、ユーザーを情報を変更します。変更内容は、変更直後から有効です（再起動は必要ありません）。登録の結果はユーザー設定画面で確認してください。☞ユーザー設定画面</p> <p>[キャンセル] ボタン クリックすると、ユーザー情報を変更せずにユーザー登録変更画面に戻ります。</p>
削除...	<p>クリックすると、確認メッセージが表示されます。</p>
	
	<p>[OK] ボタン ユーザー名に表示されているユーザーを削除します。削除の結果はユーザー設定画面で確認してください。☞ユーザー設定画面</p> <p>[キャンセル] ボタン クリックすると、ユーザーを削除せずにユーザー登録変更画面に戻ります。</p>
管理者用メニューへ	管理者用メニューに戻ります。
ユーザー設定へ	ユーザー設定画面に戻ります。

ユーザー管理について

この機能は管理者のみ操作できます。

ユーザー管理は、カメラおよびサーバー上のデータへの不正アクセスを防止するための機能です。

本ソフトウェアはグループとユーザータイプの2つの方法でユーザーが操作できるカメラを管理します。

サーバー管理者は、利用者を登録するとき、ユーザーが所属するグループおよびユーザータイプを設定する必要があります。 [ユーザー設定](#)

同様に、カメラごとにカメラが所属するグループを設定します。 [カメラ設定](#)

基本的に、ユーザーは同じグループに所属するカメラの画像を見たり、操作したりできます。操作できる内容は、ユーザーごとに設定するユーザータイプで決まります。

グループ

カメラおよびユーザーごとに所属するグループを設定します。グループには、一般ユーザー用のグループと管理者用の管理者グループがあります。

・一般ユーザー用のグループ

このグループは、本ソフトウェアにアクセスし、カメラの画像を見たり、操作したりするためのグループです。カメラおよびユーザーごとに設定します。

ユーザーは同じグループに属するカメラの画像を見たり、操作したりできます。

グループには、つぎの制約事項があります。

- ・一人のユーザーが複数のグループに属することはできません。
- ・一般ユーザーで複数のグループのカメラを制御するような場合は、グループごとにユーザーを用意する必要があります。
- ・すべてのユーザーからモニタリングまたは操作を許可する場合、そのカメラにグループを設定する必要はありません。

・管理者グループ

管理者グループは、本ソフトウェアを設定するための特別なグループです。

本ソフトウェアの設定を行うためには管理者グループに属している必要があります。管理者グループのユーザーは全カメラの操作が可能です。必ず、最低1人は管理者グループに登録してください。管理者グループに登録させているユーザーが1人もいないと本ソフトウェアを管理できなくなります。

ユーザータイプ

ユーザーごとに、操作できる範囲をつぎの2つから選択して設定できます。

- ・モニター

このユーザーは、同じグループのカメラの画像を見ることができます。

- ・オペレーター

このユーザーは同じグループのカメラの画像を見たり、カメラの操作、画像の録画、検索、再生を行うことができます。

グループとユーザータイプの関係

グループとユーザータイプの関係をまとめると下表のようになります。また、[図「ユーザー管理例（次ページ）」](#)を合わせてご覧ください。

表 グループとユーザタイプの関係

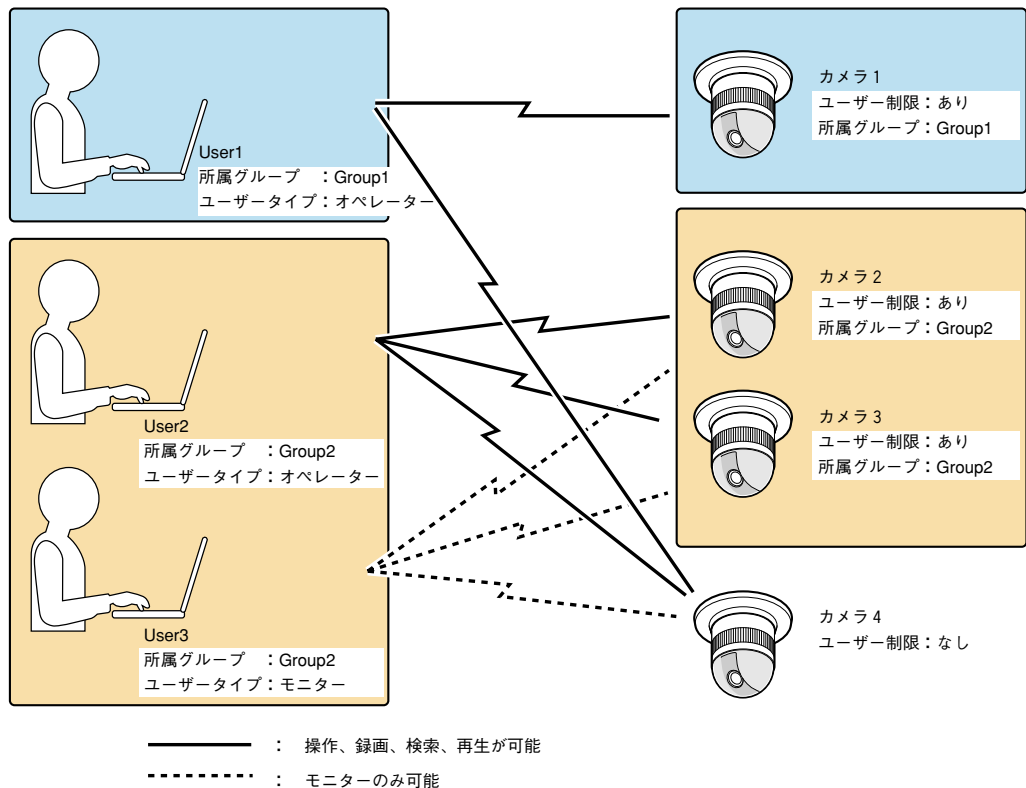
ユーザー		カメラ (ユーザー制限)		
		なし	あり	
	ユーザータイプ		Group 1	Group 2
管理者グループ※	オペレーター	◎	◎	◎
	モニター	◎	◎	◎
Group 1	オペレーター	◎	◎	×
	モニター	○	△	×
Group 2	オペレーター	◎	×	◎
	モニター	○	×	△

※：管理者グループに登録されているユーザーはすべての操作を行うことができます。
 (オペレーターとモニターの違いはありません)

凡例

◎：すべて操作可能 ○：録画のみ不可 △：カメラ画像表示のみ可 ×：操作不可

【ユーザー管理例】



ユーザー管理例について

- ・ User1は、Group1に属するカメラ1と、ユーザー制限なしのカメラ4を操作できます。
- ・ User2は、Group2に属するカメラ2～カメラ3と、ユーザー制限なしのカメラ4を操作できます。
- ・ User3はユーザータイプがモニターのため、Group2に属するカメラ2～カメラ3とカメラ4の画像のみ見ることができます。User2とは異なり、カメラは操作できません。

ユーザー認証

本ソフトウェアにアクセスし、ユーザー制限のかかったカメラを選択すると、ユーザー認証のためのポップアップウィンドウが表示されます。

ユーザーは自分のユーザーIDとパスワードを入力します。入力したユーザーIDで操作できる場合、そのカメラの画像を見たり、カメラを操作したりできます。

認証が成功すると、WWWブラウザを終了するまで、認証を受けたユーザーの使用可能な範囲で操作できます。

認証後、許可されていないカメラ（別グループのカメラ）を選択すると、そのカメラを操作するために必要な認証を受けるためのポップアップウィンドウが表示されます（設定例の図の場合、User1がカメラ2を操作しようとするときポップアップウィンドウが表示されます）。

注 認証に成功するまで、ポップアップウィンドウが表示され続けます。認証処理を中止するときはWWWブラウザを強制終了してください。強制終了のしかたはお使いになるパソコンのOSによって異なります（OSの操作説明書をお読みください）。

グループ名設定

グループ名の変更を行います。

グループは管理者用グループを除いて20個まで使用できます。

注 グループ名は削除できません。

【画面】

管理者用メニュー [グループ設定](#)

番号	グループ名	新グループ名
1	Group1	<input type="text" value="Group1"/>
2	Group2	<input type="text" value="Group2"/>
3	Group3	<input type="text" value="Group3"/>
4	Group4	<input type="text" value="Group4"/>
...
18	Group18	<input type="text" value="Group18"/>
19	Group19	<input type="text" value="Group19"/>
20	Group20	<input type="text" value="Group20"/>

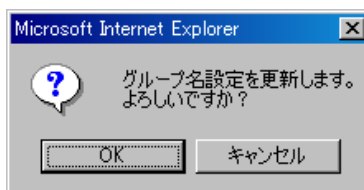
管理者

※設定更新ボタンをクリックしないと設定は更新されません。

[管理者用メニューへ](#)

【説明】

項目	説明
番号	グループの番号です。1～20までと管理者があります。
グループ名	現在のグループ名を表示します。半角英数字32文字以下で設定してください。
新グループ名	変更するグループ名を入力します。グループ名は英数字で入力してください。
設定更新...	クリックすると、確認メッセージが表示されます。



[OK] ボタン

クリックすると、グループ名を変更します。変更内容は、変更直後から有効です（再起動は必要ありません）。

[キャンセル] ボタン

クリックすると、グループ名を変更せずにグループ名設定画面に戻ります。

[管理者用メニューへ](#) 管理者用メニューに戻ります。

アラーム設定

アラーム発生時の本ソフトウェアの動作を設定します。

【画面】

管理者用メニュー [アラーム設定](#)

【説明】

項目	説明
Eメール通知	<p>アラーム発生時または映像取得失敗時にEメールを通知する／通知しないを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接点アラームと映像取得失敗を通知する 接点アラーム発生時と映像取得失敗時に宛先に指定したアドレスに電子メールを通知してお知らせします。宛先欄に、通知先のEメールアドレスを入力してください。 ・接点アラームを通知する 接点アラーム発生時、宛先に指定したアドレスに電子メールを通知してお知らせします(映像取得失敗時は通知を行いません)。宛先欄に、通知先のEメールアドレスを入力してください。 ・映像取得失敗を通知する 映像取得失敗時、宛先に指定したアドレスに電子メールを通知してお知らせします(接点アラーム発生時は通知を行いません)。通知先のEメールアドレスを入力してください。 ・通知しない 電子メールでの通知を行いません。

続き

項目	説明
宛先 (Eメール)	アラームを通知するEメールアドレスを設定します。複数指定する場合は、コンマ (,) で区切って入力します。半角英数字で512文字まで入力できます。
差出人	Eメールの差出人を指定します。ドメイン名 (@以降) まで指定する必要があります。半角英数字最大128文字です。
TCP通知	アラーム発生時または映像取得失敗時にTCPでアラーム通知を行うかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 接点アラームを通知する 接点アラーム発生時、宛先 (TCP通知) に指定した端末に通知します(映像取得失敗時は通知を行いません)。宛先欄に、通知先端末のIPアドレスを入力してください。 ・ 通知しない TCPでの通知を行いません。
宛先 (TCP通知)	TCPアラームの通知先端末を設定します。IPアドレスで指定します。複数指定する場合は、コンマ (,) で区切って入力します。宛先は、10個所まで指定できます。
管理者用メニューへ	管理者用メニューに戻ります。

注 アラーム発生時は自動的に録画が始まり、1fpsで10秒間録画します。ただし、録画領域を全て使用してしまうと、それ以降は録画を行いません。その場合は録画領域の消去を行ってください。

□アラーム録画を行うには□

ネットワークインターフェースユニットに接続されたアラームが動作したとき、本ソフトウェアはアラーム録画を行います。アラーム録画を行うためには、ネットワークインターフェースユニットのアラーム設定で「独自アラーム」を有効にする必要があります。また、WJ-NT104と本ソフトウェア間がIPReachable(IPで直接通信可能なこと)で通信できることが必須条件です。

カメラによっては内部アラームをカメラ画像とともにネットワークインターフェースユニットに送信する機種がありますが、内部アラームでアラーム録画はできません。

□アラーム時のメール内容について□

アラームが発生したときに送付されるEメールの内容は、アラームEメールテンプレートファイル /usr/local/s3/template/alarm_template

で決められ、デフォルトでは以下のような内容になっています。

```
Alarm received from Network Interface Unit.
IP address of WV-AS700 = %i
CamNo = %c
date = %Y/%m/%d
time = %t
emailfrom = %s
[JPEG]
http://%i:8080/s3?term=j&ope=img_get&camno=%c&segid=%e&recid=%r
[GIF]
http://%i:8080/s3?term=j&ope=img_get&camno=%c&segid=%e&recid=%r
```

注 アラームEメール中に埋め込まれるURLにはMMQUBE2のプライマリインターフェースのIPアドレスが使用されます。InternetからMMQUBE2にアクセスするIPアドレスがプライマリインターフェースのIPアドレスと異なる場合はアラームEメールテンプレートの「%i」の部分をエディタで書き換えてください。

例) InternetからアクセスするIPアドレスが123.456.78.9の場合

http://123.456.78.9:8080/s3?term=j&ope=img_get&camno=%c&segid=%e&recid=%r

ライブ停止スケジュール設定

設定されているライブ停止スケジュールを一覧表示します。

ライブ停止スケジュールとは、指定した時間にライブ画像の代わりに固定画像を表示する機能です。スケジュールは20個まで設定できます。

スケジュール番号をクリックするとライブ停止スケジュール設定画面を表示します。

【画面】

管理者用メニュー  ライブ停止スケジュール設定画面




番号	開始日時	終了日時	使用カメラ	画像優先度	コメント
1	月 07:00	月 18:00	*	3	*は全カメラ対象です。
2	火 07:00	火 18:00	2	3	無効にすると赤字になります。
3	----	----	---	-	-
4	----	----	---	-	-
5	----	----	---	-	-
6	----	----	---	-	-
7	----	----	---	-	-
8	----	----	---	-	-
9	----	----	---	-	-
10	----	----	---	-	-
11	----	----	---	-	-
12	----	----	---	-	-
13	----	----	---	-	-
14	----	----	---	-	-
15	----	----	---	-	-
16	----	----	---	-	-
17	----	----	---	-	-
18	----	----	---	-	-
19	----	----	---	-	-
20	----	----	---	-	-

番号をクリックすると設定画面に入ります。

赤字は、現在スケジュールが無効になっている項目を表しております。

[管理者用メニューへ](#)

【説明】

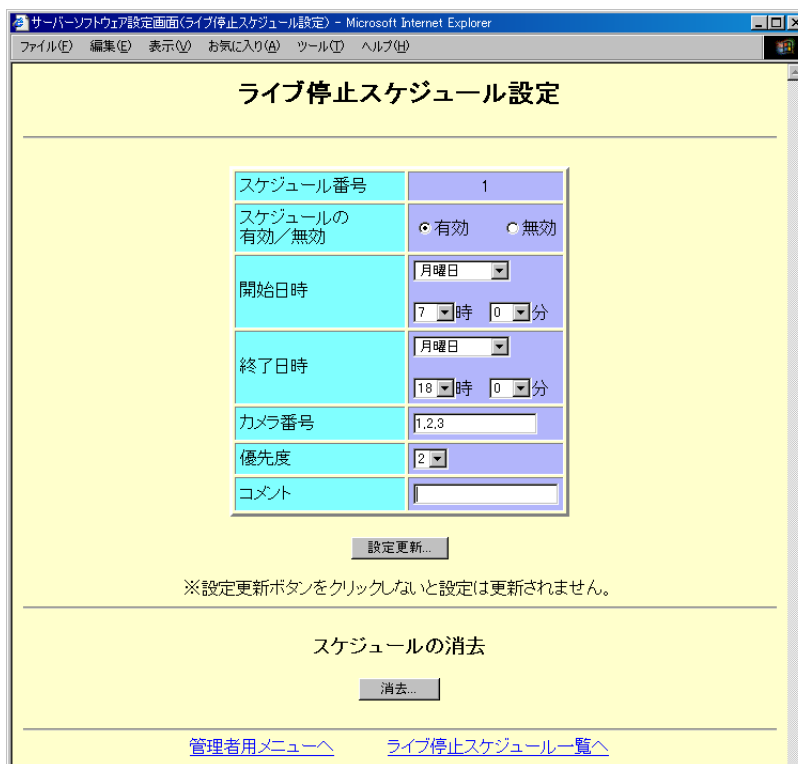
項目	説明
番号	スケジュールの番号を表示します。クリックするとライブ停止スケジュール画面を表示します。  ライブ停止スケジュール設定画面
開始日時	スケジュールの開始日時を表示します。曜日+時刻の形式になっています。
終了日時	スケジュールの終了日時を表示します。曜日+時刻の形式になっています。
使用カメラ	ライブ配信を停止するカメラの番号を表示します。
優先度	優先度（1～4）を表示します。
コメント	スケジュールに対するコメントが表示されます。
管理者用メニューへ	管理者用メニューに戻ります。

ライブ停止スケジュール設定画面

ライブ停止スケジュールを設定または消去します。

【画面】

管理者用メニュー  ライブ停止スケジュール設定画面  スケジュール番号

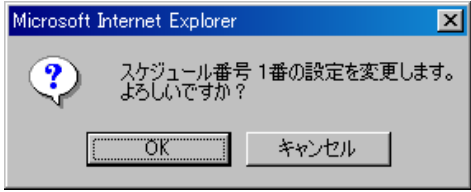
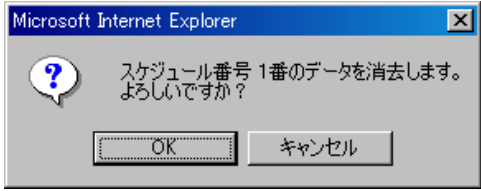


【説明】

項目	説明
番号	スケジュールの番号を表示します。
スケジュールの有効/無効	「無効」を選択すると、設定したスケジュールを無効にできます。「有効」をクリックすると設定したスケジュールが反映されます。
開始日時	スケジュールの開始日時を指定します。以下の値から選択できます。 曜日：月、火、水、木、金、土、日、月～金、土日、毎日。 時：0時～23時、毎時 分：5～55（5分刻み）、毎分 開始時刻、終了時刻に「毎日」、「毎時」、「毎分」を指定すると、本ソフトウェアが起動している間、ライブ停止を続けるスケジュールとなります。
終了日時	スケジュールの終了日時を指定します。曜日、時刻の指定は開始日時と同じです。
使用カメラ	使用するカメラ番号を指定します。複数指定する場合は、コンマ（,）で区切って入力します。*（アスタリスク）を指定すると全カメラが対象となります。
優先度	優先度（1～4）を指定します。1が高優先度です。

つづく

続き

項目	説明
コメント	スケジュールに対するコメントを設定します。
設定更新...	<p>クリックすると、確認メッセージが表示されます。</p>  <p>[OK] ボタン クリックすると、設定ファイルを更新します。変更内容は、約1分後から反映されます（再起動は必要ありません）。</p> <p>[キャンセル] ボタン クリックすると、スケジュールを更新せずにライブ停止スケジュール設定画面に戻ります。</p>
消去...	<p>クリックすると、確認メッセージが表示されます。</p>  <p>[OK] ボタン クリックすると、表示されているスケジュールを消去します。変更内容は、約1分後から反映されます（再起動は必要ありません）。</p> <p>[キャンセル] ボタン クリックすると、スケジュールを消去せずにライブ停止スケジュール設定画面に戻ります。</p>
管理者用メニューへ	管理者用メニューに戻ります。

□ 優先度について □

スケジュール間で、ライブ停止スケジュールを行う時間帯が重なった場合、優先度の高いライブ停止スケジュールに従って画像（blue1.jpg～blue4.jpg）を配信します。

注意事項

- 連続した時間で複数のスケジュールを設定する場合、処理の連続性は保証されません。スケジュールの間で、一時的にライブ画像が配信されることがあります。
- ライブ停止スケジュールの設定を変更すると、変更後のスケジュールが有効になるまで一時的にライブ画像が配信されることがあります。

システム設定

システム共通項目を設定します。


【画面】

管理者用メニュー [システム設定](#)

【説明】


項目	説明
排他制御	<p>カメラを排他制御するための方法を設定します。以下に示すモードから選択できます。</p> <p>ロックモード ロックモードは、ユーザーが使用中のカメラをほかのユーザーから操作できなくするためのモードです。 例えば、User1がCamera1にアクセスしている場合（Camera1をUser1がロックしている状態）、他のユーザーはUser1が別のカメラを選択するまでCamera1にアクセスすることはできません。 ただし、ロック状態になり続けるのを防ぐため、最後に操作してから10分経過すると自動的に制御権を解放します。</p> <p>タイムアウトモード ユーザーが制御権を取得して一定時間経過すると自動的に制御権が解放されるモードです。解放されるまでの時間、他のユーザーは操作できません。</p>
制御保持時間	<p>タイムアウトモード選択時の制御権を解放するまでの時間を設定します。以下の値から選択できます。</p> <p>30、60、90、120、150、180秒 排他制御でタイムアウトモードを選択した場合にのみ有効です。ロックモードを選択した場合、この値は無視されます。</p>

続き

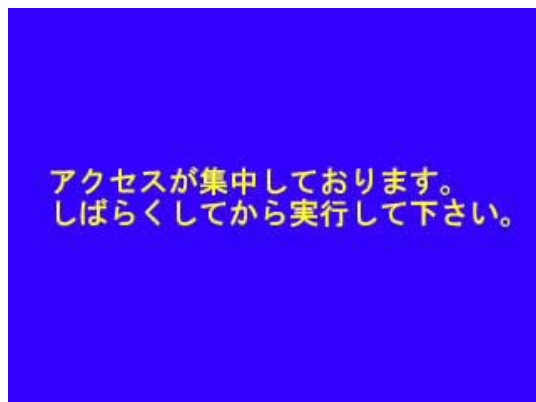
項目	説明
Proxyサーバー	本ソフトウェアがProxyサーバー経由でカメラの画像を取得する場合、ProxyサーバーのIPアドレスを入力します。 Proxyサーバーを使用しない場合、入力する必要はありません。
Proxy除外リスト	Proxyサーバーを使用する場合、Proxyサーバーを経由せず直接画像取得する必要のあるネットワークインターフェースユニットのIPアドレスを指定します。複数指定する場合、コンマ(,)で区切って入力します。
最大同時アクセス数	本ソフトウェアに、同時にアクセスを許可するユーザー数(10または20)を設定します。 アクセス数が設定値を超えた場合、そのユーザーに対し、アクセスが集中していることを示すメッセージを配信して知らせます。
4画面表示ボタン	基本操作パネルに [4画面表示] ボタンを表示するかどうかを設定します。 あり [4画面表示] ボタンを表示します。 なし [4画面表示] ボタンを表示しません。
設定更新...	クリックすると、確認メッセージが表示されます。  [OK] ボタン クリックすると、設定ファイルを更新します。ただし、変更内容は再起動後から有効になります。 [キャンセル] ボタン クリックすると、設定内容を更新せずにシステム設定画面に戻ります。
管理者用メニューへ	管理者用メニューに戻ります。

注 アクセス制限について

この機能は管理者のみ操作できます。サーバーの負荷を押さえるために、本ソフトウェアへのアクセスを制限できます。

最大同時アクセス数に達すると、本ソフトウェアは下図の画面を画像表示領域に表示し、アクセスを制限します。  システム設定画面

【画像】 アクセス集中

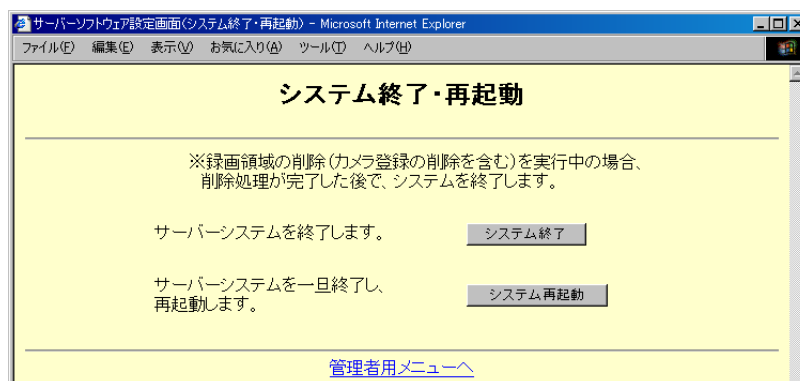


システム終了・再起動

本ソフトウェアの終了、再起動を行う画面です。
設定によっては、再起動するまで設定内容が反映されない項目がありますので注意してください。
再起動が必要な設定内容を変更した場合は、忘れずに [システム再起動] をクリックして本ソフトウェアを再起動してください。

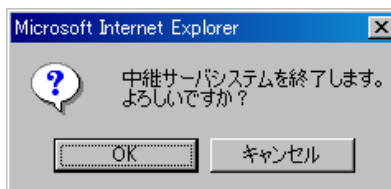
【画面】

管理者用メニュー  システム終了・再起動



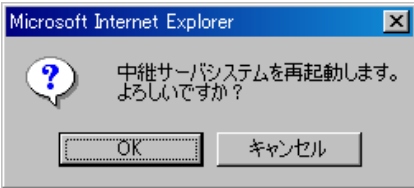
【説明】

項目	説明
システム終了...	クリックすると、確認メッセージが表示されます。



- [OK] ボタン
クリックすると、本ソフトウェアを終了します。
- [キャンセル] ボタン
クリックすると、終了せずに、システム終了・再起動画面に戻ります。

続き

項目	説明
システム再起動...	クリックすると、確認メッセージが表示されます。  [OK] ボタン クリックすると、本ソフトウェアを終了後、再起動します。 [キャンセル] ボタン クリックすると、再起動せずに、システム終了・再起動画面に戻ります。
管理者用メニューへ	管理者用メニューに戻ります。

注 以下の内容を必ずお守りください。

- ・本ソフトウェアの終了は、必ずこの画面で行ってください。
- ・Ctrl+Cキーやkillコマンドなどで強制終了を行うと、本ソフトウェアが使用する録画領域の画像データが破壊されます。システムの終了は必ず管理者機能で行ってください。録画領域の変更中など本ソフトウェアが処理を行っている場合、終了が受け付けられないことがあります。処理終了後にシステム終了操作を行ってください。

こんなときには

現象	確認事項・対策
本ソフトウェア起動時、「Can't create s3.pid; running already or permission denied.」と表示され、起動しない	本ソフトウェアの2重起動のチェックが有効になっています。プロセスを確認し、本ソフトウェアが既に動作していないか確認してください。動作していない場合は、前回の起動が強制的に終了された可能性があります。/var/run/ディレクトリにs3.pidファイルがあるかどうかを確認し、あれば削除してください。
画像が取得できない	<ul style="list-style-type: none"> ・本ソフトウェアは起動されていますか？ ・ネットワークインターフェースユニット、カメラの電源は入っていますか？ ・カメラ設定のIPアドレスに誤りはありませんか？ ・ネットワークの状況により、まれにWWWブラウザからの画像自動更新が止まる場合があります。そのような場合は、更新ボタンを押してください。
iモードで使用しているとき、画像表示が途中で止まる	回線状況などにより、データのダウンロードが中断された可能性があります。しばらくしてから更新を行ってください。
カメラ画像は見えるが、カメラを操作できない	<ul style="list-style-type: none"> ・そのカメラは誰かが操作している可能性があります。しばらくしてから再操作してください。 ・オペレーター以上のユーザーでないと操作できないように制限がかかっている可能性があります。ご自分のユーザータイプがわからない場合は管理者にお問い合わせください。
カメラがプリセットポジションに移動しない	カメラ側でプリセットポジションは設定されていますか？
カメラがホームポジションに戻らない	カメラ側でホームポジションは設定されていますか？
カメラが切り換わらない	<ul style="list-style-type: none"> ・カメラ設定のIPアドレスに誤りはありませんか？ ・同じネットワークインターフェースユニットに接続されているカメラ間で切り換えができない場合、ネットワークインターフェースユニットの動作モードが4to1モードになっていませんか？
カメラ画像以外の静止画像が表示される	<ul style="list-style-type: none"> ・カメラの電源は入っていますか？ ・ネットワークインターフェースユニットの電源は入っていますか？ ・ライブ停止スケジュール機能が有効になっていませんか？ ・ネットワークインターフェースユニットと本中継サーバー間の通信はできますか？→Pingコマンドで確認してください。 ・ネットワークインターフェースユニットのIPアドレスおよびカメラのChが正しい値に設定されていますか？ ・ネットワークインターフェースユニットの認証機能がONになっていませんか？→アクセス可能なユーザー名およびパスワードを設定し、再起動してください。 ・アナログ回線など通信レートが遅い回線を使用している場合、まれに表示されることがあります。そのような場合は画像取得間隔を大きめに設定してください。
再生できない、録画できない、検索できない	操作しているカメラのアクセス権はありますか？ アクセス権があるにも関わらず左記の状態になるときは管理者にお問い合わせください。
録画した時刻で検索したが、検索結果が表示されない	サーバーの時計とパソコンの時計は一致していますか？ 本ソフトウェアは、検索時サーバーの時計を使用します。時計の時刻が不一致の場合、検索結果に何も表示されないことがあります。サーバーの時計に、パソコンの時計を合わせてお使いください。

続き

現象	確認事項・対策
再生画像が表示されない、または再生画像にカメラ番号、時刻が表示されない	Javaアプレットが使用可能になっていますか？
録画できなくなった	録画領域がデータで一杯になっていませんか？必要であればバックアップを取り、アラーム画像を削除してください。
アラームや画像取得に失敗しても、設定したアドレスにメールが届かない	<ul style="list-style-type: none"> • アラーム設定でメール機能を使用する設定になっていますか？ • サーバーのメール機能は正常に動作していますか？ 本ソフトウェアが動作しているマシン上でmailコマンドを使用するなど、指定したアドレスに届くかどうか確認してください。 • メールアドレスに間違いはありませんか？
ユーザー認証パネルをキャンセルしても新しいユーザー認証パネルが表示される。	WWWブラウザ（ソフトウェア）を強制終了してください。強制終了のしかたは、お使いのOSによって異なります。OSに付属されている説明書をお読みください。
HTMLが表示されない	<ul style="list-style-type: none"> • URLに間違いはありませんか？ • Apache HTTP Serverは起動していますか？ • HTML文書の記述に誤りはありませんか？ • Apache HTTP Serverの設定ファイルの記述に誤りはありませんか？

索引

4画面表示.....	2-11	最大同時アクセス数.....	4-25
Eメール通知.....	4-19	差出人.....	4-20
IPアドレス.....	4-6, 4-10	システム再起動.....	4-26
Proxyサーバー.....	4-25	システム終了.....	4-26
Proxy除外リスト.....	4-25	システム設定.....	4-24
TCP通知.....	4-20	商標.....	iv
アイリス.....	2-8	商品概要.....	j
宛先.....	4-20	新規ユーザー登録画面.....	4-12
アラーム設定.....	4-19	ズーム.....	2-7
アラーム画像.....	iv	スケジュールの有効/無効.....	4-22
一時停止.....	2-10	スロー再生.....	2-10
映像取得間隔.....	4-9	制御保持時間.....	4-24
映像取得間隔について.....	4-9	全コマ再生.....	2-10
映像取得パスワード.....	4-9	操作の基本.....	2-2
映像取得ユーザー.....	4-9	ソフトウェア.....	iv
オートパン.....	2-7	タイトル.....	4-6, 4-8, 4-10
オペレーター.....	4-12, 4-13	入力Ch.....	4-6, 4-10
カメラ.....	4-10	ネットワークパスワード入力画面.....	4-2
カメラ設定画面.....	4-6	排他制御.....	4-24
カメラ選択.....	2-6, 2-11	パスワード.....	4-12, 4-13
カメラ操作パネル.....	2-7	パソコン.....	iv
管理者.....	iv	パン/チルト.....	2-7
管理者機能.....	4-2	フォーカス.....	2-8
管理者用メニュー画面.....	4-4	付属品.....	iii
基本操作パネル.....	2-5	プリセット.....	2-7
逆コマ送り.....	2-10	マニュアル録画.....	2-8
逆再生.....	2-10	モード切換え.....	2-10
逆スロー再生.....	2-10	モニター.....	4-12, 4-13
逆全コマ再生.....	2-10	ユーザー.....	iv
グループ.....	4-7, 4-9, 4-12, 4-13	ユーザー設定.....	4-11
グループ名.....	4-11, 4-18	ユーザー操作制限.....	4-8
グループ名設定.....	4-18	ユーザータイプ.....	4-12, 4-13
個別カメラ設定画面.....	4-8	ユーザー登録変更画面.....	4-13
コマ送り.....	2-10	ユーザー認証ダイアログ画面.....	2-2
こんなときには (管理編).....	4-28	ユーザー名.....	4-12, 4-13
サーバー.....	iv	ユーザー制限.....	4-6
再生.....	2-10	優先度.....	4-21, 4-22
再生操作パネル.....	2-10	優先度について.....	4-23
再生モード.....	2-9	ライブ停止スケジュール設定.....	4-21
		ライブ停止スケジュール設定画面.....	4-22
		録画状況.....	4-10
		録画領域設定.....	4-10

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年	月	日	品番	WV-AS700MQ
	販売店名	☎ () -				

松下電器産業株式会社

松下通信工業株式会社 セキュリティ&サーフェティ事業部

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号 ☎(045) 531-1231 (大代表)